

センター通信

平成 23 年 5 月 6 日

災害ボランティア・原 健吾さんとの出会い

4月8日、「今夜出発して東北に支援物資を届け、10日ほどボランティア活動をしたいのですが、通行許可証のようなものを発行していただけますか？」と原健吾さんがセンターに来所されました。

すぐには回答できませんでしたので、後で連絡させていただき約束をして、帰っていただきました。

至急、市と連絡を取りながら調べると、現在、通行許可証は発行されにくい状況である事が、わかってきました。



旅館の上に乗るフェリー（撮影：原さん）

数時間後、電話にて、原さんに通行許可証の発行は出来ない事を、その他センターで調べた少しの情報と共にお伝えし、気持ちよく納得していただきました。

原さんが今後も当センターと連絡を取りたいと言われましたので、センターの富永が携帯電話の番号を教え、その夜、原さんは東北へ向けて出発されました。

すると、次の日、「23時間かかって無事、陸前高田に到着しました！」と富永に連絡がありました。



高田高校（撮影：原さん）

通行許可証を発行する事ができれば、原さんにとって最良の事だったとは思いますが、残念ながらセンターでは出来ない事もあります。

今回、私たちスタッフに出来る事は「いってらっしゃい。お気をつけて！」と心からの声をかける事、無事を祈る事のみでしたが、対応をさせていただき、スタッフ一同、気持ちを新たにすることができました。



道をふさぐ船（撮影：原さん）

ボランティア活動に関して、何か困っている事がありましたら、どうぞ、太宰府市NPO・ボランティア支援センターまで、お話をしに来られませんか？ 求められているものをお渡す事はできないかもしれませんが、「何か」を持って帰っていただけるようなセンターを目指して、スタッフ一同活動中です！

（文：橋口）



災害ボランティアの方と（左が原さんと息子さん）